

# 苫小牧市立拓勇小学校

指定年度：H30～  
児童数：795名

## 1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

### ① 教職員や保護者、地域住民との目標の共有化

**【具体的な取組】**

- ・グランドデザインの提示
- ・中間評価に基づく短期的検証改善サイクルの確立
- ・学校だよりでの周知
- ・学校評価委員会による課題の共有

学校経営ビジョンを明確にし、重点目標を教職員、保護者、地域住民と共有することは重要である。本校は、これまでも教職員・保護者、地域住民へのグランドデザインの提示や学校だより等での重点目標や教育活動についての周知を通して、学校経営ビジョンを共有してきた。今年度は、目標についての理解・浸透を深めるために、学校評価委員会の中で学校課題の共有、評価項目の精選、数値目標の設定等を行い、学校評価を年間2回実施した。中間評価では、学校の課題から改善策を明確にし、短期的検証改善サイクルの確立を図った。

### ② 校務分掌を工夫した組織体制の確立

**【具体的な取組】**

- ・学校力向上会議の機能化

本校では、学校の重点目標を共有すること、学年主任及び校務部長を核としたミドルリーダーによる校務運営を通して組織の活性化を目的とした「学校力向上会議」を昨年度新設した。そのことにより、学級・学年の差がなく、取組を推進することができた。今年度は「学校力向上会議」を年5回開催し、各分掌の重点取組項目の設定や進捗状況の確認を行い、学校課題解決に向けた校務分掌間の連携を強化した。

### ③ 教員の経験年数に応じた育成計画

**【具体的な取組】**

- ・初任段階教員学校計画研修の充実
- ・メンター研修の充実

本校には、1～4年次の初任段階教員が9名配置されており、経験年数に応じて計画的に人材を育成することが喫緊の課題である。そこで、本校では、主幹教諭が中核となり年次の重点目標を設定した初任段階教員研修を実施している。また、重点業務への意図的配置による人材育成や、月に1回のメンター研修を実施している。

メンター研修では、初任段階教員の指導を通じたメンターやメンティー相互の人材育成を図り、全教員の資質・能力の向上につなげている。



【メンター研修】

## 2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)

□教職員アンケート「検証改善サイクル」に関する項目における肯定的な回答が84.6%（中間評価比+16.0P）であり、学校評価を複数回実施することにより短期的検証改善サイクルの確立及び教育活動の質の高まりにつながった。

□教職員アンケート「人材育成」に関する項目における肯定的な回答が97.4%（中間評価比+5.9P）であり、学校としての人材育成計画について共通理解を図ることにより、人材育成に係る教職員の意識が高まった。

■今後も組織で人材を育成することは本校の重要な課題となる。今年度の成果と課題を明確にし、次年度以降も組織的に人材育成できるように教員の経験年数に応じた育成計画を改善する必要がある。

教職員アンケート 0% 20% 40% 60% 80% 100%

